

この情報はシンガポールに滞在される方々に対しジカ熱に対する正しい知識をもっていただき、効果的な自己防衛に役立てていただくことを目的として掲載をしております。なお、今後も保健省及び環境庁のホームページ掲載情報が更新され次第、随時掲載してまいります。

平成 28 年 10 月 27 日  
在シンガポール日本国大使館

## ジカウイルス感染症：最大のジカの感染が見られた集団が閉鎖し監視下におかれました

以下の文章は、10月18日付のシンガポール国家環境庁の報道発表を基に作成しています。

シンガポール国家環境庁（以下、「環境庁」という。）は、症状がない、または軽度であり診断されない症例がジカウイルスの感染を拡げる可能性があることから継続して警戒するよう促している。

- 1 2016年10月18日、シンガポール—Aljunied Crescent/Sims Drive 地域に位置する最初のジカの感染が見られた集団が、2週間新たな感染の報告がなかったことを受け2016年10月9日に閉鎖された。環境庁は、感染が見られた集団の閉鎖から3週間となる2016年10月31日まで、この地域への注意深い監視を続継するとした。環境庁は、近隣に蚊が存在した場合症状がない、または軽度であり診断されない症例がウイルスの更なる感染を助長する可能性があるとして、すべての住民と関係者に警戒を維持し蚊の繁殖地を排除し続けるよう要請した。

### ジカウイルスの感染が見られた集団について

- 2 このジカの感染が見られた集団は、2016年9月27日に最初に確認され合計で298例が報告されていた。感染が見られた集団が確認されてから、環境庁は住宅内と屋外において検査を実施した。また、これらには居住区内の共有エリアが含まれる。128の蚊の繁殖地が発見され駆除された。そのうち60は家庭から、68は共有エリアまたは他の建物からであった。
- 3 環境庁のベクターコントロール（殺虫剤散布等による蚊の駆除）に含まれるものは、
  - a) ジカウイルスの感染を予防するための成虫の蚊の駆除（殺虫剤を使った噴霧及び室内のスプレー）
  - b) 成虫の蚊の発生を予防し、感染を減少させるための室内と屋外両方への集中的な監視と駆除を通じた蚊の繁殖地の駆除

c) アウトリーチを通じたジカの予防と抑止に係る活動の維持を促す コミュニティでの集会

4 2週間新たな感染例が報告されなかったことから、その感染が見られた集団は10月9日に閉鎖された。感染が見られた集団が閉鎖されたとしても、環境庁は2016年10月31日まで、この地域への注意深い監視を続継するとした。監視期間は、ジカウイルスの孵化期間、ヤブ蚊の寿命を考慮したものである。監視下で感染が見られた集団が閉鎖されているとき、環境庁は、いかなる潜在的な蚊の繁殖地も駆除するため共有エリアを検査し、Gravitrapsが開発して集めたデータに基づき建物の検査を実施している。

5 環境庁は、これまでの住民及び関係者の協力と警戒に感謝の意を表す。その感染の見られた集団における彼らのベクターコントロールとアウトリーチ活動が感染の見られた集団の閉鎖に貢献している。これには蚊の繁殖地が建物に発生しないようにしている住民や、その感染の見られた集団において the Mozzie Wipeout Movement (\*) を組織してアウトリーチ活動を実施した草の根団体のボランティアやコミュニティのリーダーのほか、地域の建物の保全に関しては建物の所有者、町議会を含めた the Inter-Agency Dengue Task Force (IADTF) のメンバーが含まれる。すべての住民と関係者がジカの症例がそこで再発生しないことを確保するために集団的に根絶活動を継続しなければならない。様々な関係者により講じられた対策については付属書を参照されたい。

\* 5-step mozzie Wipeout

- ① 毎日、花瓶や鉢の水をかえる
- ② 毎日、鉢植えポットプレート（受皿）の水を除去する
- ③ すべての水の貯蔵容器を裏返しにする
- ④ 物干し等（Bamboo pole holders）を使用しない時には、カバー（両端に付ける穴をふさぐ物）を付ける
- ⑤ 雨どいに詰まりがないようにし、毎日、殺虫剤を入れる

### シンガポールにおけるジカの最新状況

6 シンガポールは、ジカに対応するために、監視、検査、公的教育及び即応性を網羅した包括的な戦略を採用している。住民、業者、事業者及び IADTF における政府機関を含め、我々の集団的アプローチはジカの感染を抑止する

ことを促している。ベクターコントロールにおける環境庁の活動に加え、住民と様々な関係者がジカに対する集団的な取り組みに協力している。

- 7 Aljunied Crescent/Sims Drive の感染の見られた集団を閉鎖しても、2つの感染の見られた集団が Ubi Avenue 1 と Jalan Chengkak/Jalan Raya に残っており、2016年10月13日に、2016年10月17日にそれぞれ確認されている。また、シンガポールにおいてまばらに症例の継続が報告されており、これはコミュニティにジカウイルスの存在を示している。地域にジカウイルスとそれを媒介するヤブ蚊が存在していることから、誰も近隣における蚊の繁殖地の根絶を通じて将来的な地域の感染を防止するため警戒を維持しそれぞれの役割を果たさなければならない。
- 8 Duke-NUS メディカルスクールの新興感染症プログラムの Founding Director の Duane Gulber 教授は「環境庁とコミュニティによる集団的取組により、大規模な流行になる可能性のあったものは急速に封じ込められている。ヤブ蚊が媒介する病気を抑止する、シンガポールの全体的なアプローチには、集中的な監視と集中的な成虫と幼虫の抑止、コミュニティのアウトリーチ及び臨床的対応が関係しており、こうした病気に影響を受けている他の国のモデルとしての役割を果たすことができる」と言った。
- 9 MacPherson の草の根組織のアドバイザーの Tin Pei Ling は「私は感染の見られた集団にいるすべての住民、草の根活動団体のリーダー及び関係者の協力に感謝している。この取り組みは集中的なものであるが、我々は強くコミュニティ全体での取り組みと気概を証明した。環境庁はその地域には未だ症状がない、または軽度であり診断されない症例があり得ると注意喚起している。また、蚊への予防と抑止がジカウイルスの感染を予防するカギである。ジカに対抗するため我々の役割を継続していこう。」と行った。
- 10 Kolam Ayer の草の根団体のアドバイザーの Dr. Yaacob Ibrahim は「感染の見られた集団の閉鎖は、すべての住民や関係者が、住宅内で警戒して蚊の繁殖を予防することにより自身の役割を果たせば、我々はジカの症例を追い詰めることができる。ジカやデングといった蚊が媒介する感染症から愛する人を守るために、私はみなさんに 5 - step Mozzie Wipeout を継続してもらいたい。」と行った。
- 11 一般の方は、ジカに関する最新の情報、現時点の感染の見られる集団に関

する詳細を環境庁のウェブサイト（[www.nea.gov.sg/zika](http://www.nea.gov.sg/zika) 及び [www.nea.gov.sg/zika-clusters](http://www.nea.gov.sg/zika-clusters)）から入手できる。

原文（英文）は、環境庁のウェブページをご覧ください。

（シンガポール環境庁の発表）

<http://www.nea.gov.sg/corporate-functions/newsroom/news-releases/largest-zika-cluster-closes-and-placed-under-surveillance>